

令和6年度 こども園評価書

堺市立登美丘東こども園

<p>教育・保育理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分も友だちも大切に作る心の育成 ・学びの芽の育成 ・自分の可能性や能力を十分に発揮できる力の育成

<p>園の重点項目</p> <p>子どもが愛されていると感じ、人との関わりの中で主体的に遊び、あきらめなくて取り組む力を育ていく</p>
--

<p>令和6年度 重点内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して生活を送る中で自己肯定感、お互いを尊重する心を育む ・夢中になって遊ぶ経験から、気づきや学びとる力をつける ・家庭に合わせた子育て支援を行い、子どもを支える ・小学校や地域と連携をはかり、育ちを支える
--

重点内容	重点内容に向けた具体策	評価項目	評価	自己評価	評価	こども園関係者評価
重自安 す己心 る肯 心定 を感生 育、活 むおを 互送 いる を中 尊で	愛されている実感を持ち、それぞれの命と一人一人の思いを大切にできる人権を大切に する取り組み	・発達過程に応じ個人差に配慮しながら発達を保障する ・人との関わりを通してお互いを尊重し合えるよう人権を大切に作る心を育てる ・お互いの違いを認め大切に共に育ち合うクラスづくりを行う ・子どもの気持ちに寄り添い思いを受け止め自尊感情を育てる	A	一人一人の思いを汲み取り丁寧に 関わる中で自分の気持ちを安心して 表現できる関係を築くことができ た。友達との関りも広がり、お互い を尊重し合い共に育ちクラス集団 を作った。身辺自立では一人 一人の姿や発達に応じて対応し てきたことで基本的なことが身につ き行っている。異年齢での交流や 係活動、様々な行事を通してコミュ ニケーション力が育ってきている。	A	人との関りを大切に寄り添い、 一人一人のこどもの成長に合わ せた働きかけを行っていた。また 一人一人の思いを大切に、自 分の考えを主張できる環境であ ると感じた。
	基本的な生活習慣の自立と意欲的な生活に向 けた安定した生活の保障	・友だちと関わりながら子どもが主体的に生活することで生活習慣を身につける ・家庭と連携し基本的な生活習慣を身につける	A		A	異年齢交流や就学に向けてつけ たい力「友だちと一緒に考えたり」 を学ぶ場が適切に設定されて いると感じた。
	色々な人との関わりの中で思いを出し合える コミュニケーション力を培う活動	・集団生活の中でルールを守ったり自分の気持ちや感情をコントロールする力を身につける ・いろいろな経験を通して協調性や思いやりの気持ちを育てる	A		A	
び験夢 とか中 るに 力、な を気つ つづ けき遊 るやぶ 学経	園の自然や地域の環境、菜園活動を活かし、 好奇心・探求心や豊かな情緒・表現力を 培う活動	・自然とのふれあいや実体験を大切に遊びや生活を保障する ・季節を感じ生活を豊かにする行事や成長を喜び合う行事に取り組む	A	身近な自然や年間を通じた散歩、 各クラスの栽培活動や飼育活動など 季節を感じられる様々な実体験 を通して、好奇心や探求心が育ち 豊かな情緒や表現力を培うことが できた。年間を通じて計画的に運 動遊びやリズム遊びを取り組み、 後半はアートヨガを取り入れ、体幹 やしなやかな体づくりを行えた。	A	桜の絞り染めや実際に季節を感じ られる活動、家庭ではなかなか 難しい自然との共存など、様々な 実体験を通して豊かな取り組み を行っていた。
	よく見、よく聞き、しっかり考え、主体的に取 り組み、仲間と共感しあえる活動	・子どもが探求心などを発揮できるような環境(人的・物的)を提供する ・友だちと目標を共有して関わり合い、協力してやり遂げ、満足感・達成感を味わう ような教育・保育を保障する	A		A	運動遊びやリズム遊び、アートヨ ガなど、個々の姿に合わせて大 幹を育てるしなやかな体づくり を行っていた。
	友だちと共にたつぷり体を動かし、しなやかな 体と体力を培う活動	・リズム遊びや様々な運動遊びを通して体幹を育てるしなやかな体づくりを行う ・自分の体を大切にできるよう教育・保育の中で安全教育を行う	A		A	
もをた家 を行子庭 支い育に え、て合 る子支わ ど援せ	様々な家庭状況や一人一人の保護者の思い に寄り添い、親子が良い関係で向き合え るような保護者支援	・家庭環境やニーズを受け止め”共に子育てしていこう”というメッセージを届けながら 信頼関係を築いていく	A	送迎時や個人懇談等でこどもの姿 や具体例を話したり、保護者の思 いを受け止め関係を築いてこれ た。園での様子や活動を配信写真 やフォトニュースで視覚化して知 らせ、教育・保育内容の関心につ ながった。	A	保護者との信頼関係を築き、配 信や視覚化しながら、具体的に 教育・保育内容を知らせ、安心 や満足につながっている。今後も 変わらず、こどものよさを届けて ほしい。
	保護者の子どもへの思いや考え方を尊重し、 保護者自身がどうしていくのか考え、決 定していけるような保護者支援	・保護者自らが子育てを楽しみたいと思え向き合えるように、出来ることを一緒に見つける	B		A	
えりと小 る、連学 育携校 ちをや をは地 支か域	接続期の教育・保育内容の検討など小学校 と職員間の意見交流	・様々な連携を通してお互いが大切にしている目標や方法を理解する機会を持ち園 児の姿や育ちをつなげる	A	1年を通じて小学校や他園との交 流や連携を通じてお互いの目標や 方法等を知る機会となり、就学前 の園児の姿や育ちにつながって きている。園庭開放や預かり事業の 利用も増え交流できている。	A	園だけではなく、地域や幼小交 流を行い、より考えが豊かになる と感じた。幼小交流では小学校と 連携して取り組めたので、今後も 指導等も含めて共有していきたい。
	日々の地域とのあいさつ、つながり作り、散 歩内容などの充実	・幼小交流や近隣との交流を通し、豊かな生活体験を得られるようにする	A		A	
	地域の親子が交流できる場や相談できる場 の提供	・園の機能を発揮し地域に必要な子育て支援を実施する	B		A	
質職 向員 上の 資	職員のチーム力の育成	・教育保育理念や目標、指導計画について職員同士が共通理解する ・円滑な情報共有や連携をし、子どもを中心とした視点で話し合い各職員が役割を果たす ・職員間の交流や情報交換を円滑に行い学びと育ちをつなぐ	A	園内研修や公開保育、職員会議等 を活用し、教育・保育内容や職員 の資質向上を図り、園全体で学び 合いチーム力につなげてこれた。	A	職員同士でお互いの教育・保育 を見たり、意見交換をしチーム力 の高まりを感じた。また職員とこ どもたちとの良い関係にもつな がっている。

今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
子どもが主体的に生活することで生活習慣を身につける	生活習慣面は身につけてきているので、自ら見通しを持って主体的に行動して行なっていける援助方法を園全体で考え、実践していく。
色々な人との関わりの中で自分の思いを出し、伝えられる力を育ていく	人との関わりの中で、話を聞いたり相手の思いに気づけるように関わり、自分の思いをしっかり伝えられる様々な豊かな経験を積み重ねていく。

園長より
今年度はより多くの方に行事に参加していただき、こどもたちの姿や成長をより知っていただくことができました。こども一人一人思いや姿を大切にしたい関りや職員のチームワークの良さも評価していただけたので、次年度も安全・安心な環境の中、こどもたちが自分の思いを伝え、主体的に取り組める豊かな経験をたくさん積み重ねていきたいと思っております。